

## 〈調査報告〉

## 松島トミさんの口承文芸 2

大谷 洋一

- 目次 1. まえがき  
 2. 凡例  
 3. ヨノコのウエベケレ  
 4. マタタンブのウエベケレ  
 5. 註

## 1. まえがき

本稿は、1922（大正12）年に沙流郡門別町で生まれ育った松島トミ（旧姓：海馬沢）さんがウエベケレ uepeker（散文説話）と呼んでいる口承文芸のアイヌ語テキストと日本語訳である。

いろいろなジャンルがあるアイヌ口承文芸の中で、松島さんが好んで語るののは節をつけて語る形式のイヨンルイカ iyonruyka（子守歌）やメノユユカラ menokoyukar（女性の叙事詩）であった<sup>(1)</sup>のだが、今までは聞く一方で語った経験がなかったというウエベケレを1997年9月以降から語り始めるようになった。現在まで採録した6編のウエベケレ中から採録例が非常に少ないといわれる「植物が主人公となって自らのことを語る形式の散文説話」の2編を報告したい。

第1話は、門別町豊田に住む人たちがヨノコ<sup>(2)</sup>と呼ぶ植物のメヒシバが主人公である。ヨノコという名称の由来について今のところ詳しいことは不明であるが、同地に住む人たちは現在も日常的に用いていることばである。松島さんによると、畑で作業する人がアイヌ語で、ヒナクワ エク ウェン キナ！ hinak wa ek wen kina「どこから来た悪い草だ！」という悪態をつきながら雑草であるヨノコを抜き捨てていたという。また「メヒシバは人間に迷惑をかけるだけで何の役にも立たないので、昔はカムイ kamuy（神）と言わなかったけれどカムイと呼ばなくても魂はあるから、ものを考えたり喋ったりする。草も木も鳥も動物と同じように喋る」ということを述べている。この物語を要約すると「和人の国にいた女の子がさらわれて北海道へ行き、そこで知り合った男性と結婚して子供をたくさん産むが和人が私の子供を次々と切り捨てるので辛いから、あまり切り捨てないでください、とメヒシバが語った」となる。

第2話は、松島さんがマタタンブあるいはマタタブと呼ぶ植物の葉の「マタタビ」が主人公であ

る。「世界を股にかけて旅しているからマタタビ(股・旅)だと昔の人が言っていた。孫婆さんが薬の話だから覚えておけて、心臓でもなんでも効くからって教えてくれた。マタタビは秋にならないと採れない。私も焼酎に漬けて飲んでいた」というように松島さんは述べている。物語を要約すると「和人の国にいた男の子が和人の奥さんに育てられていたところ、女の子と知り合って結婚し、子供を持って暮らしていた。和人の村にいる病人を救おうとして薬のことを夢で和人へ知らせても気づいてもらえなかった。そこで北海道に移り住んで薬のことを夢でアイヌへ知らせると彼らはその薬を用いて病人たちを治して私たちを祭るようになった、とマタタビが語った」となる。

それぞれの主人公を比較すると、北海道へ移動する際に和人が舟で運んでくるという点は共通しているが、それについて受け身であったメヒシバに対してマタタビは能動的である。また、メヒシバは畑の雑草として人間に嫌われてしまうが、マタタビの方は薬として人間に役立つのでアイヌから祭られる存在になったことなどと人間との関係は大きく異なっており、松島さんは「両方ともウエベケレだがマタタビは薬の話だからウバックマ upaskuma(言い伝え)のウエベケレだ」と述べている<sup>(3)</sup>。

なお、筆者は1995年『北海道立アイヌ民族文化研究センター第1号』において「松島トミの伝承」という日本語表題で韻文説話を報告しているが「伝承」という概念は広すぎて内容がわかりにくい難点があった。そこで今後は「松島トミさんとの口承文芸」と表題を改めて様々な説話をシリーズとして報告していきたいと思う。前回はシリーズの1と考え、今回は表題の末尾に2をつけることにした。

今回報告する散文説話について、日本語のあらすじは語り手自身が語ったものを載せる。伝承と採録の経緯は以下のとおりである。

(1) ヨノコのウエベケレについての伝承・採録の経路

- ① 1955(昭和30)年頃、門別町において、新冠町出身の胡桑野トキ(通称:ネーヤン)が門別町出身の松島トミに対して稲の苗抜き作業中に聞かせた。
- ② 1998(平成10)年8月7日、門別町において、松島トミから筆者が採録する(資料所蔵番号:795)。同町出身で幼なじみの鍋沢キリが同席している。
- ③ 1998(平成10)年9月30日、門別町において、松島トミから筆者が再び採録する(資料収蔵番号:799、本報告)。
- ④ 1999(平成11)年11月27日、門別町において、松島トミから筆者が日本語によるあらすじを採録する(資料収蔵番号:961)。

(2) マタタンプのウエベケレについての伝承・採録の経路

- ① 1928(昭和3年)年頃、門別町において、同居していた祖母の海馬沢ウカス(門別町出身)が松島トミに聞かせた。
- ② 1999(平成11)年6月26日、門別町において、松島トミから筆者が採録する(資料収蔵番号:912)。

- ③ 1999(平成11)年9月24日、門別町において、松島トミから筆者が再び採録する(資料収蔵番号：924、本報告)。同町出身の鍋沢キリが同席している。
- ④ 1999(平成11)年11月27日、門別町において、松島トミから筆者が日本語によるあらすじを採録する(資料収蔵番号：961)。

音声資料は北海道立アイヌ民族文化研究センターが保管する。報告するにあたり、北海道大学農学部附属博物館の高橋英樹教授から植物についてご教示をいただいている。記して謝意を申し上げる。

## 2. 凡例

基本的には、社団法人北海道ウタリ協会発行の『AKOR ITAK アコロ イタツ』の表記法に従っている。

- (1) 本文は二段組みとして、アイヌ語による語りの部分を左側に、その語句の意味を右側に記している。
- (2) アイヌ語のカタカナ表記は、音素交替などにより変化した音を表記する。アイヌ語のローマ字表記は、音素交替やわたり音を表記しない。例：ポイセタ アンマ pon seta an wa
- (3) ローマ字表記の小文字はアイヌ語であり、大文字は日本語である。地名は語頭のみ大文字とする。
- (4) ローマ字表記は一語とみなしたものを単語ごとに分けて表記し、カタカナ表記は実際の発音に近いようにつないでいる。
- (5) あらすじ内のアイヌ語の意味や本文の言いさしなどを( )で括る。
- (6) 語句の解釈が不確実な場合、その語句の後に??を付ける。
- (7) 採録者や同席者の発言及び語り手の咳などを[ ]内に記す。
- (8) アイヌ語のニッパ nispa「紳士。長者。物持ち。金持ち。旦那様」とカムイ kamuy「神様。熊。自然」は、アイヌ語を借用した形でそのまま日本語訳に用いる場合がある。

## 3. ヨノコのウエペケレ

〈あらすじ：5分34秒間〉

あっちの、内地のどこの部落かわかんないんだけどもー、は一、ちっちゃい、まだちっちゃいの親とも別れて、内地にはいっぱい兄弟も親も親戚もいっぱいいたろうけども、わかんないでどうなって、馬の牧草さ入って、舟に乗って来たんだか、全然わからないで、上がったところは北海道で、もうどうすることも出来ないで、そしたけ、牧草の中にウェンシサム wen sisam (悪い和人)

あと、わかって、それとって、ベツ pet (川) な、川のそばさ、ぶん投げられたやつを、根ついたんだと。そして、ほーん、アエ a=e (私はそれを) 情けなくて情けなくてどうもならん、一人でなんでこやってして、とんでもないとこさ上がったんだべな、と思って、とつても情けなくていたけども、もう今にも今にもまた抜いて、川さ流されるような、あんばいなんだけど、なるべく身隠して、お、大きい草の中にいるようにして、そやって、いた一け、一年か二年たったけ、また流される、流れる、流されるようで、こんどそっからまた逃げて、逃げてこんど、どこだかの牧場さ入って、川の縁でないとこさ行って一、したけ、そこで、また自分に似た者、見つけて、喜んで、したけ、聞いたけ、自分も、どっからか一、どやってなったもんだか、来たけど隠れて隠れて、こやってして、あの一、いたもの一、お前もそうか一ちって、したけ、その人、男で、そしてこんど、またどっか行って逃げるべってゆって、そして山さ逃げたほうがいいちったら、山だら、あれだから、どっか隠れるべーちゅうことになって、そして隠れて、ながら、したけ、夫婦だもんだからまた子供出来てまた一、増えたんだとたくさん、あっちにもこっちにもって、自分ら元で、増えたもんだからみんな怒って、そして抜いては川さ投げられてやしたけど、自分ら隠れてや、そやってしてや、親戚増やしたいばかりでそやってすれば、もうみんな一、ウエン シ、シャモ wen samo (悪い和人) らに抜かれてや、投げられてや、川さ流されてや一、すれば、ぶ、他の部落さ行ってやまた、上がってや一、根つけてや一、そやって、どうにかこうにか命つなぎして、そしてもう、あっちゃこっちゃ、もうあらゆる、部落周りして、そしてや、親戚増やしても増やしても片っぺし抜かれてや、するもんだから若い、自分の子供らに逃げれ逃げれちって、人のいないとこへ逃げれ逃げれ、ウエンシサム wen sisam (悪い和人) あと、こやって抜いてや、親戚減ってしまうんだから、逃げれ逃げれちってや、逃がしてや、とんでもないとこに逃がしてや、悪口ゆっても一、抜かれないばいいんだけども、みんな抜かれてしまうから、なるべく人の見えないとこに隠れれちって、そやって教えてや、親に教えられたもんだからって、みんな逃げて歩い、んん、てやいる、なんぼ逃げて歩いても、もうもう、目にとまれば投げられてや、流されてや、また別な部落さ行ってや、そやってしていたん、だけども、もう年もいけば、もう投げられても仕方ないと思って、諦めて親たちは、したけど若い一、やつら、そやって夫婦になってや、こっこ増やして増やして、今だに絶えないで、ヨノコ (メヒシバ) はいるんだと、どこいっても、人の有名になって、悪口言われて、そして絶えるちゅうことないで、いっそう、何十年なっても、絶えることはないべーって、ヨノコ イソイタク YONOKO isoytak (メヒシバが物語る) したと。

〈本文：8分18秒間〉

トノコタンタ シサムコタンター <sup>(4)</sup> ア、 、	
tono kotan ta siam kotan ta (a, ,)	日本の国に、和人の国に
エアラキーンネア、アウタリ インネワー	
earkinne (a) a=utari inne wa	本当に私の親戚が大勢いて
ポローンノ アウタリ インネワ	
poronno a=utari inne wa	たくさんの仲間がいて
オカアンペ アネー ヒ、ケア、 、	
oka=an pe a=ne hike (a)	暮らしていたところ
アー、アサハカアンー アユビヒカアンー	
(a) a=saha ka an a=yupihika an	私の姉さんもいる。兄さんもいる。
ポローンノ ふー、アマテ、 、アマタキーだの	
poronno (hu, , a=mate, ,) a=mataki DANO	いっぱい妹とか
アアキだの ポローシ、 、ヒネ、 、	
a=aki DANO poro (si, ,) hine, ,	弟とか
ウ、ウタラトゥムター オカアンペアネイケー	
(u) utar tum ta oka=an pe a=ne ike	仲間の中で生活していたのだが
マカナク イキアンワー エアラキンネアン <sup>(5)</sup>	
makanak iki=an wa earkinnean	なぜかまったく
クンネヘネ トカフヘネ	
kunne hene tokap hene	夜も昼も
アエランペウテッノ	
a=erampewtek no	わからないような
アンーシクンネ ウシケター	
an sirkunne uske ta	真っ暗なところに
ア、 、アオマレヒン、 、アオマヒネー <sup>(6)</sup>	
(a, , a=omare hin, ,) a=oma hine	入って
ヒナクンカー アイセハウ、 、ハウエネヤ	
hinak un ka a=i=se (haw, ,) hawe ne ya	どこへ背負われていくのか
アエランペウテッノ エアラキーンネアン	
a=erampewtek no earkinnean	わからないままにとても
アエキマテッコロ イネアンチカラカー	
a=ekimatek kor ine ancikar ka	驚きながら何晩も

エネ アナナイーネ はーん、〔咳払い〕	
ene an=an ayne (han, )	このようにいたあげく、
ヒナクンカー アイセヒネ	
hinak un ka a=i=se hine	どこかへ背負われて行って
こんど アイランケ イーネ ハー、	
KONDO a=i=ranke ine (ha, )	から下ろされて
インカラアニケー シケトクワノー	
inkar=an ike siketokwano	眺めると見たこともない
アエラムシカリーコタン シサムコタンタ	
a=eramuskari kotan sisam kotan ta	私が知らない村、和人の村に
アイランケー ヒーネ エアラキンーネアンー	
a=i=ranke hine earkinnean	私は下ろされて、まったく
アウタリーカ シネツカ アヌカルカ	
a=utari ka sinep ka a=nukar ka	私の仲間を一人も見ること
アエラムペウテクノ エアラキンネ ミシムアン	
a=erampewtek no earkinne mismu=an	できずに本当に寂しくて
チサナチサナ マカナク イキアンワ エネ	
cis=an a cis=an a makanak iki=an wa ene	泣き続けた。どうしてこのような
シリクンネウツケウン アイマ、アユ、、オマレ、ネ	
sirkunne uske un (a=i=ma, ) a=i=omare ne,	暗いところに入れられ
ヒネヘネ 〔咳払い〕 シレラムシカリアン ウツケター	
hine ene sireramuskari=an uske ta	て、このように見たこともないところに
アイセヒネ、ア、、アエラムペウテクノ	
a=i=se hine (a, ) a=erampewtek no	背負われて、、私はわからないで
アナナーアイーネー ベクサムタ <sup>(7)</sup> インカラアニケ	
an=an ayne pet sam ta inkar=an hike	いたあげく、川のそばを見たところ
ポロー ベツ、、アンルウエネヒネ	
poro pet, an ruwe ne hine	大きな川があって
サマケヘタ アナンー	
samakehe ta an=an	その近くに私はいた。
アットアッコロ ワツカー	
apto as kor wakka	雨が降って大水が
サンコロ アイモムカ ノーイネノイネ	
san kor a=i=momka noyne noyne	出ると私は流されそうな

シリキー、キ、キラアンーワ  
 siriki (ki) kira=an wa 気配がしたので私は逃げて  
 ヤタ ヤナンランケー キ コルー エアラキンネ  
 ya ta yan=an ranke ki kor earkinne 岸に上がりながらいると本当に  
 ミシムアン チサンコロ エン、アナンアイーネ [咳払い]  
 mismu=an cis=an kor (en,) an=an ayne 寂しく泣いていたあげく  
 イネヘムパッパー シラニカ  
 ine hompok pa siran hi ka 何年過ぎたものなのか  
 アエラムペウテッコロカー  
 a=erampewtek korka 私はわからないけれども  
 ヒン、ヒナクンカ アナカサンルスイ クス  
 (hin,) hinak un ka apkas=an rusuy kusu どこかへ歩きたくなったので  
 アッカシアナクス  
 apkas=an akusu 歩いていると  
 アウタリ シネッ ウウ、ケライポー  
 a=utari sinep (uu,)keraypo 私の仲間を一人、おかげで  
 アバルウェネーヒネー エアラキンーネ  
 a=pa ruwe ne hine earkinne 見つけたのでとても  
 アエヤイーコブンテッ  
 a=eyaykopuntek 私は喜んだ。  
 アウタリカ イサムノ エネ  
 a=utari ka isam no ene 仲間もなくてこのように  
 マカナッ イキアンワ エネー  
 makanak iki=an wa ene どうしてこのような  
 アヌーンコタンター シサムコタンタ エネ  
 anun kotan ta sisam kotan ta ene よその村に、和人の村にこのように  
 ヤナンワ エネ アマタキー  
 yan=an wa ene a=mataki 上がってこのように妹や  
 アサハウタル アオナハ アウヌフウタル  
 a=saha utar a=onaha a=unuhu utar 姉さんたちや父や母たちを  
 アヌカンスイヒケカー  
 a=nukar rusuy hike ka 私は見たくても  
 アヌカル ルスイヒケカー エネ  
 a=nukar rusuy hike ka ene 私は見たいけれども、どうやって

アラバアーン ヒカ アエラムベウテッ	
arpa=an hi ka a=erampewtek	行ったらよいかわからない
ベネクスー エネ アツカサン アイネ	
pe ne kusu ene apkas=an ayne	ものだったのでこのように歩き、とうとう
シネー アウタリー アバルウェネヒネ	
sine a=utari a=pa ruwe ne hine	一人の仲間を見つけて
エアラキンーネ アエイコブンテッ	
earkinne a=eyaykopuntek	とても私は喜び
ネー [咳払い] シネツカ チシコロアン ワ	
ne sinep ka cis kor an wa	相手も泣いていて
エネ ミシムアンコロ アナンーアッ	
"ene mismu=an kor an=an a p	「このように寂しく暮らしていたものですが
ヒナツワエネ [咳] エエツルウェアンセコロ	
hinakwa ene, e=ek ruwe an" sekor	あなたはどこから来たのですか」と
ハウエアンー ウウエランカラナアンコロ	
hawe an uerankarap=an kor	言って互いに挨拶しながら
アナン インカラナクス オッカヨネー	
an=an inkar=an akusu okkayo ne	いた。彼を見ると男であり、
ヒネ こんど、ハ、とつても、ア、	
hine KONDO (ha, ) TOTTEMO (a, )	そして、とつても
アコラマスイ <sup>(8)</sup> ベネクス こんどー	
a=koramasuy pe ne kusu KONDO	私は好きになったので
ホクネアコロ ワ エアラキンーネアン [咳払い]	
hok ne a=kor wa earkinnean	彼を夫にして、とても
アエイコブンテッ	
a=eyaykopuntek	私は喜んだ。
ネ オッカイポカー エエイコブンテッ	
ne okkaypo ka eyaykopuntek	その青年も喜んだ
アシヌマカー アエイコブンテッ ワ ハ、	
asinuma ka a=eyaykopuntek wa (ha, )	私も喜んで、
シネバ トッパー シランコロ こんど	
sine pa tu pa siran kor KONDO	2、3年たつと
ポーサンケ ア、アキツネクス	
posanke (a, ) a=ki p ne kusu	私は子供を産んだので



ポローンノ ポー シレシッテア アーキ  
 poronno posiresikte wa a=ki  
 エアラキンネ アエイコブンテッ、ワ、、  
 earkinne a=eyaykopuntek wa ,,  
 オラー アウヌフー アサハー アオナハカ  
 ora a=unuhu a=saha a=onaha ka  
 アオイラワイサム、、ワー こんど、ハー、、  
 a=oyra wa isam,, wa KONDO, (ha,,)  
 ポーシレシッテアンベネクス  
 posiresikte=an pe ne kusu  
 トー、トイオッタネヤッカー  
 toy or ta ne yakka  
 ペトツタネヤッカー  
 pet or ta na yakka  
 キブネクス こんど シサム  
 ki p ne kusu KONDO sisam  
 ウェンシサムウタラ エアラキンネ  
 wen sisam utar earkinne  
 イーコサカヨカラバ コロ フー、  
 i=kosakayokarpa kor (hu,)  
 トウイバパワ ペトルン オスルパランケ  
 tuypa pa wa pet or un osurpa ranke  
 ベッサムタカー アウタリ  
 pet sam ta ka a=utari  
 ポローンノ シレシッテアンベ タネー  
 poronno siresikte=an pe tane  
 オンネアンカキッ ネコロカー  
 onne=an ka ki p ne korka  
 イララアンベネクス<sup>(9)</sup>  
 irara=an pe ne kusu  
 エアラキンネ オヤコヤクタ  
 earkinne oyakoyak ta  
 アボホウタリ アマッネボホウタリ  
 a=poho uatari a=matnepoho utari

たくさんの子供でいっぱいにした

とても私は喜んで

それから母も姉も父も

私は忘れてしまって、そして

私は子供をいっぱいにしたので

畑のところであっても

川のところであっても

そうしていたものなので和人、

悪い和人たちがとても

私たちを怒鳴りつけながら

切って川の中へ捨て続けた。

川のそばにも仲間を

いっぱいにして今は

私も年老いたけれども

和人を馬鹿にしていたので

本当にあちこちに

私の息子たちや娘たちを

シレシクテー アキー コロ	
siresikte a=ki kor	いっばいに増やして
ネー アホク、、ア、、アコンニシバトゥラノ	
ne (a=hok, , a, ,) a=kor nispa turano	旦那様と共に
エアラキンネ ウエヤイコプンテクアンコロ	
earkinne ueyaykopuntek=an kor	とても一緒に喜んで
エネー ポ シレシクテアンイーネ	
ene posiresikte=an hine	このように子供をいっばいにして
オヤコヤクター イネ ヘムバクコタンタ ハー、、	
oyakoyak ta ine hompok kotan ta (ha, ,)	あちこちにいくつもの村に
ポシレシクテ アキツ ハー、、ネクス	
posiresikte a=ki p (ha, ,) ne kusu	子供をいっばいにしたので
エアラキンネーネ エ、キムタネヤッカ	
earkinne (e, ) kim ta ne yakka	本当に山であっても
ベトッタネヤツカー トイオッタネヤッカ	
pet or ta ne yakka toy or ta ne yakka	川であっても畑であっても
ポローンノ オヤコヤクタンペネ、、ウ、、	
poronno oyakoyak ta an pe ne, (u)	たくさんあちこちにいるようになった。
ポシレシクテアンー ちんきからちんき <sup>(10)</sup>	
posiresikte=an CINKI KARA CINKI	子供を次から次に産んだ
キツネクス ハー、、ウエンシサムーウタルー、、	
ki p ne kusu (ha, ,) wen sisam utar, ,	ので悪い和人たちが
トンカアニ プスパワ ベトルン	
tonka ani pusupa wa pet or un	鍬で掘り出して川の中へ
オスルパランケ ヒケカ ポローンノ、ツ、、	
osurpa ranke hike ka poronno (tu, ,)	捨て続けていたがたくさんの
アマクネポウタリカー ポサンケツネクス	
a=matnepo utari ka posanke p ne kusu	娘たちも産んだので
ポロンノ アポホウタリカ	
poronno a=poho utari ka	たくさん息子たちも
ポサンケツネクス ポロンノ	
posanke p ne kusu poronno	産んだのでたくさん
オヤコヤク ター ポーシレシクテアンー コロ	
oyakoyak ta posiresikte=an kor	あちこちに子供をいっばいに増やして

ハー、 、 オカアンー  
 (ha, ) oka=an 暮らした。  
 アウヌフカ アオナハカー  
 a=unuhu ka a=onaha ka 私の母や父を  
 アエシカルンコロカ エネバイエアンー シリカ  
 a=esikarun korka ene paye=an siri ka 恋しかったがどうやって行くのか  
 アエラムペウテッ ペネクフス アコロカ  
 a=erampewtek pe ne ku(hu)su a korka わからないのですが  
 ボシレシクテ アウタリーシレシクテ アキマネクスー  
 posiresikte a=utari siresikte a=ki p ne kusu 私は仲間をいっぱい増やしたので  
 エアラキンーネアンー ネッアコンルスイ  
 earkinnean nep a=kor rusuy 本当に何を欲しいとか  
 ネッアエルスイカ ソモキコロカ  
 nep a=e rusuy ka somo ki korka 何を食べたいとか思わなかったが  
 エネ ウェンシサムウタラ ウェンサンベコロパワー  
 ene wen sisam utar wen sanpe korpa wa 悪い和人たちが悪意を持って  
 オピッタ トゥイパワ モムカワイサム  
 opitta tuypa wa momka wa isam みんなを切って流してしまう  
 ペネクスー バテッ アエシキリ、 、 ラッ コロ<sup>(11)</sup>  
 pe ne kusu patek a=esirkirap kor ので、そればかりを心配しながら  
 オカアンペ アネーヒクスー  
 oka=an pe a=ne hi kusu 私は暮らしているので  
 イテキー ヨノコー エチヌカラヤッカ  
 iteki YONOKO eci=nukar yakka お前たちはけっしてメヒンバを見ても  
 エチー、 、 ふふふ、 、 ふふ、 、 オトウイバ オスラー<sup>(12)</sup>  
 eci=(HUHUUHU, , , HUUHU, ) otuypa osura それを根元から切り捨てる  
 ソモ エチキナンコンナーセコロ  
 somo eci=ki nankor na sektor のではないぞと  
 ヨノコカムイ<sup>(13)</sup> イソイタッ  
 YONOKO (kamuy) isoytak. メヒンバが話しました。

#### 4. マタンプのウエペケレ

〈あらすじ：17分46秒間〉

内地のどこー、どこか部落わかんないんだけども、赤ちゃんのときに、この部落の酋長に、拾われたもんだか、どうなったんだかわかんないんだけども、ちっちゃいー赤ちゃんみたいときに、育てられて酋長の裏側に、小さい小屋作って、そこ入れられて、育てられて毎日、その奥さんが、酋長の奥さんが来てやー、頭なでてや、はー、親もどうなったもんだか、兄弟もいたんだべけど、わかんないで育ててそこで、拾われて育てられたもんだから、そしていたら、親のようにして、もう、早く大きくなれよ、早く大きくなれよって頭、なでてやくれて、毎日水かけられてや、そやってして、おがってー、親のような気して、毎晩泣きながら、親も見たいー、兄弟も見たいと思ひながら、泣きながら辛い思いしながら、夜も昼もそやってしてーいたんだけども、ほんとにちっちゃい赤ちゃんみたい、なときなもんだから、何がなんだかさっぱりわからんで、泣きながら毎日、さみしくていたけども、もー、大勢な部落、シャモ samo (和人) の部落にいるもんだから、どうすることもできへんでいたもの、毎日その奥さんがそやって水かけてや、くれて頭なでてや早く大きくなってくれよーってゆうながら、笑いながら、そうゆってくれることば聞いたら、もー、嬉しくて親のような気してや、頑張って、そうしていたんだけどもー、だんだん、ひと月、ふた月たつにせよ、なんぼかずつ大きくなってきたもんだから、あ、少し大きくなってきたなってや、毎日、頭なでてや、そーしてくれて、いやー、こんど親も、あんまり思い出さない、あんまり泣かないでみたら、どっこもかも明るーくて、ほに賑やかなところでも、あれしていたけ、だんだんと大きくなってきて、はー、物心ついて、きてや、きたもんだから、こんどあっちこち、首回して見て、やー、いればこんど、あっちこちに病人できたり、死んだ者もいれば、年いった人も病気になる、若い人も病気になってや、いるの、わかるようーになった、それだけ成長してきたもんだから、はー、そやってしてーきて、二月、三月、とたつにしたがって、大きくなるもんだから、すんごくその、奥さん喜んで、やー、笑いながら顔なでてや、ん、頭なでてやー、そしてくれていたもんだから、はー、たんだんと大きくなって、見たら、そやって病気になった人ら、たくさんいるのわかってきて、なんとか助けたいなーと思って、イサ (医者) になりたいなーっちゅう気持ちで、出てきて、その酋長にも、夢に教えたりするんだけど、ぜんぜんわかってもらえない、覚えてもらえないもんだから、こんど、どうしてもイサ (医者) になりたくて、していたけ、だんだん、一年、二年たってきたけ、だいぶーん大人になって、きて、したもんだから、もうあっちこち首回してみても、やー、したけ、川、川の縁にだんぶん離れている自分のとっから、いるとっから、だいぶん離れているんだけども、川の縁に自分とおんーなじ、者がいるの、ちっちゃいー、たく見えて、やー、水、雨降って水出たら流れてしまうんでないかなーと思って、もうもうもう、情けないながら、そこさっぱり、見て見てー、いるうちに自分もだいぶんおっきくなったー、三月、三年、四年たったけ、おっきくなったもんだから、こんどその酋長のじさまになんとか自分のそば

さ持ってきてほしくて、こんどパカヌ pakasnu (教える) さして、そしてなんとかその木さ、想い行くようになって、もう、そうゆうふうにして一、その酋長がこんど、は一、やっぱりわかったらし一、くて、大雨降るのに、降ってきたもんだから、こんど、あ、仕向けるように仕向けて、そして、その酋長が、こんど、川の縁行って、それ掘ってきて、こんど自分の近間さ、持って来て、おい、おいたまんまで、行ってしまった。なんも言わないで行ってしまった。こんど、なんとかして、助かってほしいなと思って、いたもんだから、したけ雨降って、もう水流れて流れて、もう大水出て、自分らの近間まで、水あふれてくるようになって、なつて、自分もながされるべか、その一、その娘っこもながされるかな一っと思って、心配して泣きながら祈って、そして、いたけそのうちに雨止んだけ、こんど水、だんだん引いてしまつて、流れないで終わったもんだから喜んで、へ一、したもんだから、喜んでこんど、その娘っ子に話しかけて一、お前どっからき、ん一、来て、そやって川の縁にいるんだ一っだけ、自分はこの、泣きながらいていて、いて一、こんど自分はこの水の出始めの、出る、ほんとの本元の周りに自分の親も、兄弟もいっぱいいた、して自分はばちっ子だったもんだから、こんど一、こやって水出て、そしてみんな流されてしまつて、兄弟らもどこさ行ったもんだか、ど一なつたもんだかわからんで自分だけが、この、お、おかさ一、に一、一人の人に見つけられて、そしてこの、川の縁にいたもの一、そやってまた助けられて、大水出たらまた一、自分も流れてしまうかなと思つてたけ、助けられてこやってして、来て水のとよいとこへ来て、助かった一けど、兄弟らも親らも、どこの部落に上がったもんだか、拾われたもんだかわからないで、暮らしてきたけど、は一、おかげでこやってして助かった一って泣きながら、セイコブンテッ yaykopuntek (喜ぶ) して、喜んで、ひひひ、ふん、どうしても英語 (アイヌ語) 入るんだな、

[大谷：は、入っていいよ。ふふふ、]

もうもうもう、そやっていたものアネルウェネー a=ne ruwe ne (私なのです) つつだけ、アシヌマ asinuma (自分から) は、そうゆう覚えもないで、赤ん坊の、みたいなときに、拾われてきて、こやってして、育てられてこれくらいなつたんだから、かんばつて生きていくべな一ちつて、二人で話し合っているうちに、その一、女の子もだいぶん、一年、二年たつたけ大きくなつたからこんど、結婚申し込んだんだと、もう結婚申し込んだけ喜んで、すごく喜んで、くれて一、ネノーポカ nen poka (なんとか) やつたか、ふふふ、いいイサ (医者) になりたくて、いるんだから、なんとか病人ばかりいるから、イサ (医者) になりたくているから、そのつもりでいれ一ちつて、こんど二人で結婚して、そして、まあまあ、子供出来るわ出来るわ出来るわ、そしてもう、シャモ samo (和人) らあつかつて、集まつてきてや、もう、みんなして、でんでんに持つて行く一、そやってしてやもう、や、山でも畑の縁でもい一っぱい、メノコ menoko (女)、おるとこやら女やら、ふっふ、はっはっは、

[大谷：ふっふふ、うん、いや、いいよ、ふふふ、]

女やら混ぜこぜでみんな、そやってしてみんなに拾われたもんだから、喜んで一、こんど、は一、見たけ一、馬の、牧草やら、舟さ積んでるの見えたもんだから、こんど嫁さんに、いや一、どうし

でも医者になりたいから、アウタリ a=utari (私の仲間)、アイヌ aynu (アイヌ民族) のいるところへ、なんとか行くべーちって相談かけたけー、いーいーちって嫁さんも承知してくれたもんだから、こんど、そっから、抜けて、たましい、だけがこんど、その一牧草の、わいさ??入ってー、隠れて、二人で手しっばってー、嫁さんの手しっばって、牧草の中入って隠れてー、したら牧草の中だも、暗いも明るいもわからんで、何日舟に乗ったんだかわからないで、はー、ある日に、この舟着いて、荷物降ろしたからこんどー、したら、キラ kira(逃げる)、逃げて、そして、ふー、見たけその、ボス、モシカリベツ Moskarpet (厚別川) ちゅう、とこさ上がったけ、アイヌ、アイヌ aynu (アイヌ民族) の人ばかりいるコタン kotan (村) で、そのコタン kotan (村) さ上がったもんだから、もー喜んで、こんど山さ逃げて二人で、自分のかか手引っ張って、そして、山さ逃げて、こんど、ソソ、家みたいなブドウの蔓、コクワの蔓、ある、下にこんど、そこで隠れていて、はー、こんど、それからこんど、ネー ne (その) ブドウの蔓やらで家こしらえて、そしてそこで、はー、娘と、だか嫁さんと、夫婦でそこに暮らすことに決めて、そして、して見たけ、そのコタンコン kotan kor (コタンの) の酋長の、周り、病人だらけでいる、やら、その酋長の奥さんも倒れて、動けなくているの見たもんだから、こんどその酋長だら信じてもらえるなと思って、その酋長にこんど夢見せて、はー、そしたけ、ネー ne (その) 酋長やっばり、シャモ samo (和人) よりアイヌ aynu (アイヌ民族) はいいもんで、一晚、夢に見せただけで、こんど、ナニ nani (すぐに)、その酋長、山さ来て、そのいる場所も教えたもんだから、夢で教えたもんだから探して歩いて、よいやく見つけて、はー、そしてこんどー、そっからこんど、教えた木の枝とって、そして持って下がって、煮立てて、お茶代わりに、飲ませたけ、イポロワノ iporo wano (顔色から)、顔色からなから元気な顔出てきたー、こりゃーいいもんだーちってるうちに、アマチー a=maci (私の妻)、すーぐ来るワ、ポサンケツネクス wa posankep ne kusu (へて子供を産んだので)、こんど、オヤコヤッタ エ、エトイタバ oyakoyak ta etoytapa (あちこちにそれを植えた) してやもう、息子やら娘やら、もう、できたもんだから、そやってしてー、したけその一酋長の奥さんも元気になったもんだから、こんど、したけ周りに、タネ ライアンキアン tane ray anki an (今にも死にそうになっている)、若い娘やら、男の人やら女の人やら、若いもんら具合悪くて、そやっているもんだから、も、こんどまた、その酋長にこんど夢見せたけ、こんど来て、その一アポウタリ a=po utari(私の子供たち)、娘ら掘って行ってやー、大きいようなやつから掘って行ってや、こんどその病人らに飲ませて、したけ、みんなタネ ラ、tane ra、(今、死、)、今死ぬようなかっこした人も、元気になって、したもんだからこんど、その酋長もなんも喜んでしまっ酒やら、お菓子やら果物やら、たくさん持って来て、祭ってくれるー、かけてくれるー、したもんだから酔っ払ってしまっ、嬉しくてほんとに医者になれたなと思って、嬉しくて、そしているアマチヒカ a=macihi ka (私の妻も)、そやってして、みんな嫁さんにもー、物あげて、さ、かけてくれる、そやってしてもう祝ってもらって、とつても良い医者にな、医者より効くちゅうゆわられて、はー、もう、もうもう御幣こしらえて、や、祭ってくれたり、そやってして、とつてもこんな幸せなことない、シャモ samo (和人) よりやっばり、アイヌ aynu (アイヌ民族) の方が思いや

りもある一、なんでも信じてもらえる、こんなありがたい一ことない、ちってその息子やら娘やらたくさん、出来るもんだから、も片っぺし、みんな、あれしてくれて、そして病氣した者みんな、そやってしてや助かったもんだから、みんなわ、、わからん、、忘れないで一、この医者薬より何より、いいんだからちゅうこと、みんなに夢に見せたり、そやってして、いい、人に誉められる医者になったから、言うってマタタッ（マタタビ）さ、、忘れないで、誰でも具合悪かったら飲めっていう、ウエベケッ uepeker（散文説話）た。ふふ、、、。

〈本文：18分41秒間〉

ネウンイキアンワ アナニカ	
neun iki=an wa an=an hi ka	どうやって暮らしていたことか
アエラムシカリ <sup>(14)</sup> ポンポンイワタラフ	
a=eramuskari ponpon iwatarap	私はわからない。とても小さい赤ちゃん
ネノアンヘカチ アネーワ	
nenno an hekaci a=ne wa	のような男の子が私でして
シサムコタン トノコタン ハー、	
sisam kotan tonon kotan (ha)	和人の村、殿様の村、
コタンコロニッパ ウトゥルケー <sup>(15)</sup> ワ	
kotan kor nispa uturke wa	村長の住むところの裏の方に
ピリ、、ポンチセ アカラフ	
pir,, pon cise a=kar wa	小さな家を作って
オロタ アイヤヌ、	
oro ta a=i=anu	そこにおかれていた。

[鍋沢：ふーん]

オラ エアヲキンネアンー アエナサケナイ	
ora earkinnean a=enasakenay	それからとても情けないが
アウヌカ アエラムペウテック	
a=unu ka a=erampewtek	母親もわからない
アオナカ アエラムペウテックノ ハー、	
a=ona ka a=erampewtek no (ha)	父親もわからないで
エネアンーウシケタ シネナネワ	
ene an uske ta sinen a=ne wa	このようなところに一人で
アナニアン セコロ ヤイヌアックスー、	
an=an hi an sekor yaynu=an kusu,,	暮らしていると私は思ったので
ベネクス クンネヘネ	
pe ne kusu kunne hene	そのため夜も
トカフヘネ チサナチサナコロ	
tokap hene cis=an a cis=an a kor	昼も泣きつづけながら
アナニ、ヒケカー ネブ、	
an=an (i) hike ka nep,,	暮らしていたことも、何も



シサムウタラ アナク エラムペウテクノ

sisam utar anak erampewtek no

オカノイネ イラムアンワ

oka noyne iramu=an wa

エアラキンネ ポーヘネ アエナサケナイコロ

earkinne po hene a=enasakenay kor

アナンペ アネー ヒネ

an=an pe a=ne hine

ヒナクン オルワ エカンペカ

hinakun or wa ek=an pe ka

アエラムペウテク アユビウタリー

a=erampewtek a=yupi utari

アサハウタリカ オ、オカー ナンコロベヘネ<sup>(16)</sup>

a=saha utari ka (o) oka nankor pe he ne

アヌカラカ エアイカッノ エネ

a=nukar ka eaykapno ene

エネシネナネ、へー、

ene sinen a=ne (he)

アナンペ アネルウエネセコロ

an=an pe a=ne ruwe ne sekor

ヤイスアンコル ソンノ チサーン コロ

yaynu=an kor sonno cis=an kor

[鍋沢：ふーん]

クンネヘネ トカブヘネ

kunne hene tokap hene

アナンペ アネーヒネ ハクス

an=an pe a=ne hine (ha) kusu

シサムメノコ、トノカッケマク

sisam menoko, , tono katkemat

シサムカッケマク ワッカアニワ

sisam katkmet wakka ani wa

エックワ イカオターランケコロ

ek wa i=ka ota ranke kor

和人たちというのは、わからないで

いたように私は思って

なおさらいっそう情けなく

暮らしていたのが私であって

どこから私が来たのかも

私はわからない。兄さんたちや

姉さんたちがいたのだろうか

私は見ることもできないで

このように一人で

暮らしていた者が私であると

思いながら本当に泣きながら

夜も昼も

いたものなので

和人の女、殿様のご婦人

和人の奥さんが水を持って

来て私の上に降りかけるながら

〔聞き手：ふーん〕

アサバハー ラライバ コロ

a=sapaha raraypa kor

私の頭をなでながら

〔鍋沢：はい〕

ホクレ ポロアニーセコロ

"hokure poro ani" sekor

「さあ、大きくなりなさい」と

ポロワ ノンノ オアニーセコロ<sup>(17)</sup>

"poro wa nonno o ani" sekor

「大きくなって花咲かせよ」と

ハウエアンコロ エミナコロキ

hawean kor emina kor ki

言って微笑んだ

アエヤイコブンテク エアラキンネ キー

a=eyaykopuntek earkinne ki

私はとても嬉しく

アウスフ エネ イエフミネーベコロ

a=unuhu ene i=ye humi ne pekor

母親が私に言ってくれたみたいに

ヤイヌアン シサム イタカニ

yaynu=an sisam itak ani

思った。彼女は日本語で

ハウエアンベ ネコロカ

hawean pe ne korka

話したけれども

エアラキンネ アエヤイコブンテク コロ

earkinne a=eyaykopuntek kor

本当に私は嬉しくて

オロワナ、ノ、、チサンカ

orowano cis=an ka

そのときから私は泣か

ソモキノ エケシンネ ヘキルキルー

somo ki no ekesinne hekirukiru

ないであちこちに顔を向け

インカラシコロ ケットー アナナイーネ ハー、

inkar=an kor kesto an=an ayne (ha,)

眺めながら毎日暮らしたあげく

トゥツブ レツブ シリアナクス

tu cup re cup sir an akusu

二、三ヶ月が過ぎると

ボンノボンノ ポロアンー ペネクス

ponno ponno poro=an pe ne kusu

少しずつ私は大きくなったものなので

ネー シサムカッケマク、、

ne sisam katkemat, ,

その和人の奥さん、

シサムメノコー ハー、ボンノ

sisam menoko "ha, ponno

エポロ ナーセコロ ハウエアンコル

e=poro na" sekor hawean kor

アサパー ライパライバ<sup>(18)</sup> コロー

a=sapa rayparaypa kor

[鍋沢：ふーん]

ホシピーランケコロ エアラキンネ

hosipi ranke kor earkinne

ネワアンペー アエイコブンテッ コル

ne wa an pe a=eyaykopuntek kor

アナン、、、

an=an,,

チサンー していたって

cis=an SITE ITATTE

アウヌフー アヌカラペでもない

a=unuhu a=nukar pe DEMO NAI

アウタリー アヌカラペでもない

a=utari a=nukar pe DEMO NAI

セコロ ヤイヌアンワ こんどー

sekor yaynu=an wa KONDO

エケシンネ シッケルルアン<sup>(19)</sup> コロ

ekesinne sikkeruru=an kor

アナンペ アネーヒケー

an=an pe a=ne hike

ケシト エ、エネ シサムメノコー ホー、、

kesto (e) ene sisam menoko (ho,,)

トノメノコ エッワ、ワ、、

tono menoko ek wa (wa)

ワッカー イカオタランケコル

wakka i=ka ota ranke kor

アサバラライバコル

a=sapa raraypa kor, .

和人の女が「はー、少し

お前は大きくなったな」と言いながら

私の頭をなでながら

いつも帰ると本当に

それが私は嬉しく思いながら

いた。

泣いていても

母親に会えるものでもない

仲間に会えるものでもない

とってから

あちこちを見渡しながら

暮らしていたところ

毎日、このように和人の女が

殿様の女が来て

水を私の上にしょっちゅうかけながら

私の頭をなでながら

ケットコラチ アナイーネ、オカナイーネ

kesto koraci (an ayne) oka=an ayne

シネパオケレ アクス

sine pa okere akusu

ポローヘカチネ アナン ルウェネーヒネ

poro hekaci ne an=an ruwe ne hine

毎日のように暮らしていると

年の終り頃になると

大きな子供になっていて

〔鍋沢：ふーん〕

エアラキナーネ

earkinne

ネー カッケマク シサムカッケマク、

ne katkmat sisam katkemat, ,

エヤイコプンテックスー ハアー

eyaykopuntek kusu "haa

エポロルウエネーセコロ ハウエアンコル

e=poro ruwe ne" sekor hawean kor

アサバ ラライパコル

a=sapa raraypa kor

本当に

その婦人、和人の婦人が

喜んで「はー、

お前は大きくなったな」と言いながら

私の頭をなでながら

〔鍋沢：うん〕

スイ アラバワイサム ルウェネーヒネー

suy arpa wa isam ruwe ne hine

こんど エケシンネ インカラアーン コロ

KONDO ekesinne inkar=an kor

アナンベ アネーヒケー ベッサムン、ウー、

an=an pe a=ne hike pet sam un (u, ,)

シッケルル ウー、アナクス

sikkeruru (u, ,) =an akusu

イネノーカネ、オ、アンー ポンマッカチー

i=nenno kane (o, ,) an pon matkaci

ベッサムタ アン ルウェ

pet sam ta an ruwe

また、行ってしまって、

それから、あちこちを眺めながら

いたところ、川のそばへ

視線を動かすと

私と同じような小さな女の子が

川のそばにいたのを

アヌカン ルウェネヒネ	
a=nukan ruwe ne hine	私は見たので
エアラキンネアソー アプトアシ チキー	
earkinnean apto as ciki	本当に雨が降ったなら
アモムカワ イサム ルウェー	
a=momka wa isam ruwe	流されてしまうので
ソモネ セコロ ヤイヌアンコロ	
somo ne sekor yaynu=an kor	はないかと思ったので
アイヌター アネ、ネ ポンメノコ	
aynu ta a=ne, ne pon menoko	私は人間になって、その小さい娘を
ア タスケタロルスイ コル	
a=tasuketaro rusuy kor	私は助けたいと
パテック アナン ルウェネ	
patek an=an ruwe ne	ばかり思っていたのである。
ソノーノ シネアンタ	
sonno sine an ta	本当にある日
アプトアサアサ アサヒネ タネタネ	
apto as a as a as a hine tane tane	雨が降り続けて今にも
ネー マッカチー アモムカ アンキアンキ、シー、	
ne matkaci a=momka anki anki (si,)	その女の子が今にも流されそうになった
へ、レアラキンソーネアソー	
(HE, r) earkinnean,	とても
アエナサケナイペネクス	
a=enasakenay pe ne kusu	私は心配になったので
ネー コタンコンニッパ トノシサム	
ne kotan kor nispa tono sisam	その村の立派な和人
カトゥ アカンルウェネヒネ	
katu a=kar ruwe ne hine	に憑いて
ネー マッカチ [咳] オウリ ヒネ	
ne matkaci , owri hine	彼がその女の子を掘って
コロワ エツワ イカランケ	
kor wa ek wa i=karanke,	持って来て私の近くに、
イカランケ アヌルウェ、	
i=karanke anu ruwe,	私の近くに置いた

アヌテッワスイ

anu tek wa suy

さっと置いてまた

〔鍋沢：うん〕

アラバワイサム [茶を飲む] ハー、

arpa wa isam (ha, ,)

行ってしまった。

エアラキンネ アエヤイコブンテッ

earkinne a=eyaykopuntek

とても私は喜び

コル アヌカラワ アンペー

kor a=nukar wa an pe

ながら見ていたものが

アネーアッ、アットアサアサナイネ

a=ne a p apto as a as a (n) ayne

私だったが雨が降りつづけたあげく

イカランケ イカランケー

i=karanke i=karanke

私の近くへ近くへ、

アットー ワッカサンワー

apto wakka san wa

私の近くに雨水が出て

キーコロカ アシヌマー と

ki korka asinuma TO

きたけれども私（も彼女も）

アモムカ、もしないで ワッカ、オ、

a=momka, , MO SINAIDE wakka

オシンヌーワ<sup>(20)</sup> イサム ルウエネ

osinnu wa isam ruwe ne

流されることもなく水が

アットカ、やすい、ヤンペ、ヤ、

apto ka YASUI, , YAMPE, , YA, ,

うふ、やんだもんだから<sup>(21)</sup> [咳]

引いてしまった。

雨も止むもん、、、

UHU, , YANDA MONDAKARA

止んだものだから

キーオラ エアラキンネ ネーマッカチ

ki ora earkinne ne matkaci, ,

それから、たいそうその女の子は、、、

アシヌマカー エネ ポンポン アーンナフ

asinuma ka ene pon pon=an a p

私もこのようにとても小さいのだが

イコラチ ポンポンマッカチ ネヒネ

i=koraci pon pon matkaci ne hine

私のようにとても小さい女の子なので

ヒナッワ エエクルウエネー セコロ

"hinakwa e=ek ruwe ne" sekor

「どこから来たのですか」と

アコイピシアクス ネー マッカチ

a=koipis akus ne matkaci

チサチサコロ アナイネ

cis a cis a kor an ayne

アシヌマアナッ ア、タ、トオッ ウ、タバン ベッ

"asinuma anak (a, ta) toop (u) tapan pet

ワッカオア、 、オアシン<sup>(22)</sup> ウッケ

wakka oasin uske

ちったんだか、 、あー、 、[咳払い]

TITTANDAKA,, (A,,)

なんだかのど、おかしいね [咳払いして茶を飲む]

NANDAKA NODO OKASIINE ,,

トオットオッ ムー、 、ワッカー、まあ、

toop toop (mu,,) wakka (MAA)

ではじめだちゅうんだわな

DERU HAZIMEDA TYUUNNDA WANA

そこでー

SOKODE

私がつねるとその女の子は

泣きに泣いたあげく

「私は、遠くこの川の

水が湧き出るところ

と言うんだか、 、

なんだか喉がおかしいね。

遠く遠く、水の

湧いている所

で

〔鍋沢：うん〕

アオナハカ、 、アン

a=onaha ka,, an

アウヌフカアンイネ アマッタ、 、

a=unuhu ka an hine (a=matta,,)

アマタキー ア、アサハー アアキヒカ

a=mataki (a) a=saha a=akihi ka

ボン だか、 、アユビヒカ ポロンノ

pon DAKA,, a=yupihika poronno

オ、オカイベネ オラ、 、[咳] アクス

okay pe ne ora ,, akusu

ワッカサンーイネ アットアッワ

wakka san hine apto as wa

ワッカサニネ オビッタ

wakka san hine opitta

私の父もいて

母もいて

妹も姉も弟も

兄さんもたくさん

いたところ

大水が出て雨が降って

水が出てみんな

アモムカワ イサム

a=momka wa isam

流されてしまった

〔鍋沢：うん〕

アウヌフカ アオナハカー

a=unuhu ka a=onaha ka

母さんも父さんも

アユピウタリ、ア、、アサハウタリカ

a=yupi utari (a) a=saha utari ka

兄さんたちと姉さんたちも

オピッタ、ア、アモムカワイサム

opitta (a) a=momka wa isam

みんな流されてしまった

アシヌマカー もうなんも

asinuma ka MOU NANMO,,

私も、もうなにも (できずに)、

サン、、サバナイネ テタ

(san,) sap=an ayne te ta

私も流れて来たあげくここに

マカナク イキアンワ ヤナニカ

makanak iki=an wa yan=an hi ka

どうにかして上がったことも

アエラムベウテッノ

a=erampewtek no

わからないで

ヤタ、、ヤナンワ アナン ベネ アニネ

ya ta,, yan=an wa an=an pe ne an hine

岸に上がっていたものであって

シサムーニッパ シサムカッケマク

sisam nispa sisam katkemat

和人のニッパと和人の婦人が

エネ [咳] イパワ ベッサムタ

ene i=pa wa pet sam ta

このように私を見つけて川のそばに

イヤヌルウエネ セコロ ハウエアヌルウエ、、

i=anu ruwe ne" sekor hawean ruwe,,

置いたのです」と話した。

チッコロ ハウエアヌルウエネーヒネ<sup>(23)</sup>

cis kor hawean ruwe ne hine

泣きながら話して

エアラキンネ アシヌ、、マは アモムカ、、

"earkinne asinuma (HA) a=momka,,

「本当に私が流されて、、

アイモムカシ、、ルウエカイサムコロカ

a=i=momka (SI) ruwe ka isam korka

私が流されてしまったけれども

マカナクイキアンワ エネ アナンベ

makanak iki=an wa ene an=an pe

どうしてこのようになった



アネカ アエランプーテッ イワタラッ  
 a=ne ka a=erampewtek iwatarap  
 ネノアン ポンポンヘカチ アネヒネ  
 neno an pon pon hekaci a=ne hine  
 タバンタ、 、エカン ルウェネクス  
 tap an ta, , ek=an ruwe ne kusu  
 キアブ、 、エアニアナッネ、 、オピッター  
 ki a p, , eani anakne opitta  
 アモムカワイサム ルウェネって  
 a=momka wa isam ruwe ne TTE  
 ヒナクン バイエバ ルウエカ  
 hinakun payepa ruwe ka  
 アエランベウテッ ルウェネーセコロ  
 a=erampewtek ruwe ne" sekor  
 ネーマッカチ [咳] ヤイケウコロ  
 ne matkaci yaykewkor  
 チンコロ ヤイエイソイタッ  
 cis kor yayeysoytak  
 エアラキンネ ア ケムヌブ、 、  
 earkinne a=kemnu p, ,  
 ネクス こんど、 、ハー、  
 ne kusu KONDO, , (ha, )  
 イサムタ アンベネクス  
 i=sam ta an pe ne kusu  
 ウコイタカンコロ  
 ukoytak=an kor  
 ミムアンカ ソモキノ  
 mismu=an ka somo ki no  
 ネ ウコイタカンコロ ア、オカアナイネ  
 ne ukoytak=an kor (a) oka=an ayne  
 トッパ レバ シランコロ オケレ  
 tu pa re pa siran kor okere  
 ルウェネナークス ネー マッカチカー、 、  
 ruwe ne akusu ne matkaci ka, ,

私なのかわからない赤ん坊  
 のようなとても小さな子供が私でして  
 ここに流されて来たため  
 そうしたものだが、お前はみんな  
 流されてしまったのである  
 どこへ行ったのかも  
 私はわからないのです」と  
 その女の子が辛い目にあって  
 泣きながら自分のことを言った。  
 本当に気の毒に私は思ったもの  
 なので、こんどは  
 私のそばにいるものだから  
 互いにしゃべり合い  
 寂しいこともなく  
 しゃべり合いながら暮らしたあげく  
 二、三年過ぎ去る  
 と、その女の子も

だいぶん ポロ アシヌマカ  
DAIBUN, , poro asinuma ka  
ポロヘカチネ アナンルウェネヒネ  
poro hekaci ne an=an ruwe ne hine  
ネー カッケマク [咳] シサムカッケマク  
ne katkemak sisam katkemat  
ワッカアニワ エクワ イカオタワ  
wakka ani wa ek wa i=ka ota wa  
ウェンコー エポロルウェネーセコロ  
"wenko e=poro ruwe ne" sekor  
シサムイタカニ アサパー ラライバ  
sisam itak ani a=sapa raraypa  
ネ マッカチカー ラライバコロ  
ne matkaci ka raraypa kor  
ワッカ カシオタランケコル  
wakka kasi ota ranke kor  
オカアンベ アネヒケー [咳]  
oka=an pe a=ne hike  
シネアントータ アコラムコロ<sup>(24)</sup>  
sine an to ta a=koramkor  
アマチヒネ、エ、エアンルスイ  
"a=macihi ne (e, ) e=an rusuy  
ソモキー セコロネクス  
somo ki" sekor ne kusu

[鍋沢：うん]

エヤイコブンテッコロ こんどー  
eyaykopuntek kor KONDO  
ア、マクネアコロ、アブ、イ、キ、  
(a, ) mat ne a=kor a p, iki,  
コタンオオルン シサムコタンオオルン  
kotan or un sisam kotan or un  
インカラ シッケルルアンコロ  
inkar sikkeruru=an kor

だいぶん成長した。私も  
大きな少年になって、  
あの婦人、和人の奥さんは  
水を持って来て私の上にかけて  
「立派だねえ。お前は大きくなったね」と  
日本語で言って私の頭をなでた。  
その女の子もなでると  
水を彼女の上にかけてながら  
私は暮らしていたところ  
ある日、私は彼女に求婚した。  
「私の妻になりたく  
ないか」とのことで

喜んで  
私は妻にしたものだが、  
村へ、和人の村の方へ  
きょろきょろ見ると

ソノノ タスムクル パテク	
sonno tasumkur patek	本当に病人ばかり
オカハ、ワ、、ペウレーヒケーカ	
oka (ha) wa pewre hike ka	いて、若い者も
オンネツカー エアラキンネ タスムクルパテク	
onnep ka earkinne tasumkur patek	年寄りもとても病人ばかり
オカノイネ イラムアンペネクス	
oka noyne iramu=an pe ne kusu	いるように思ったので
ネンーボカタ イキアンワ	
nen poka ta iki=an wa	私がなんとかして
イシャニシバネ アナンルスイ	
isa nispa ne an=an rusuy	医者になってみたい
エアラキーンネ キツネクス、、	
earkinne ki p ne kusu, ,	本当に思ったので
ネンーカタ イキアンワ	
nen ka ta iki=an wa	なんとかして
ネー シサム メノコウタラー	
ne sisam menoko utar	その和人の娘たち
アタスケタロルスイ セコロ ネワ	
a=tasuketaro rusuy sekor ne wa	を助けたいとそう
ヤイヌアンペネクス ネウンパクノ	
yaynu=an pe ne kusu neun pakno	思ったので、なんとかそればかり
ネー コタンコロ ニシバ アウエンタラツテレ <sup>(25)</sup>	
ne kotan kor nispa a=wentaraptere	その村のニシバに私は夢を見させた。
タップネタップネ カネアン くすりー	
"tapne tapne kane an KUSURI	「このようにある薬
エチクレヤクン ピリカナンコンナー	
eci=kure yakun pirka nankon na"	をお前が彼らに飲ませたらいいだろう」
セコロ アウエンタラツテレ ヒケカ	
sekor a=wentaraptere hike ka	という夢を見せても
エランベウテッパ ネ ライヒケ ライ	
erampewtekpa ne ray hike ray	わからないで死ぬものは死に
シリカオマヒケー シリカオマワー	
sirkaoma hike sirkaoma wa	床につくものは床について

アンシリ アヌカラベネクス

an siri a=nukar pe ne kusu

いる様子を私は見たために

エアラキンネアン アエナサケナイ

earkinnean a=enasakenaiy

ものすごく私は情けなかった。

ネウンーポカタ イキアンワ

neun poka ta iki=an wa

どうにかして

ピリカイサネー アキルスイセコロ

pirka isa ne a=ki rusuy sektor

良い医者になりたいと

アナンルスイ セコロ ネワ [咳]

an=an rusuy sektor ne wa

私が思っていると

こんどアマチ、ア、カ、ポコロワ

KONDO a=maci (a, ka, ) po kor wa

こんどは私の妻が子供を産んで

ソノーノ ポロンノ シ、シレシッテ

sonno poronno (si, ) siresikte

とてもたくさん、いっぱいにして

アポウタリー アマツネポウタリ

a=po utari a=matnepo utari

息子たちや娘たち

シレシッテアー アキー ネクス ウウエカラバ

siresikte a=ki ne kusu uekarpa

をいっぱいにしたので、集まった

シサムウタラキワ てんてんに

sisam utar ki wa TENTEN NI

和人たちがめいめいに

コロワ パイエバランケ へー、<sup>(26)</sup>コロ

kor wa payepa ranke (he, ) kor

持って行きながら

[鍋沢：うん]

オカアンベネイケ

oka=an pe ne hike

暮らしていたところ

インカラニケ ウンマエブ<sup>(27)</sup> チッアニ [咳]

inkar=an hike umma ep cip ani

見ると馬の餌が舟で

ア、アルラ ノイネ シリキネツネクス

(a) a=rura noyne sirki p ne kusu

運ばれるらしい様子だったので

こんど、アマチー アコラムコロ

KONDO, a=maci a=koramkor

こんど妻に私は相談した。

ネンポカター アイヌコタン オッタ、ワー、

"nen poka ta aynu kotan otta (wa, )

「なんとかしてアイヌの村に

シレパアンチキ イサにー アナンルスイベ  
 sirepa=an ciki isa NI an=an rusuy pe  
 アネツネクス シネンネ エアン するか  
 a=ne p ne kusu sinen ne e=an SURUKA”  
 セコロ アコイビシアクス アシヌマカー  
 sekor a=koipisi a kusu ”asinuma ka  
 アラバアンルスイ ペネ セコロ ネワー  
 arpa=an rusuy pe ne” sekor ne wa  
 アボホー アマツネポウタラ オピッタ  
 a=poho a=matnepo utar opitta  
 アホツバヒネ こんど、〔咳〕  
 a=hoppa hine KONDO,、  
 ウンマエツ トゥムケ アオマ  
 umma ep tumke a=oma  
 アマチー テケ アアニワ  
 a=maci teke a=ani wa  
 オロ トゥムケウン ア フナンワ<sup>(28)</sup>  
 oro tumke un ahun=an wa

〔鍋沢：うん〕

ヌイナカンヒネ こんどー イネー アン 〔咳〕  
 nuynak=an hine KONDO ine an  
 いっしゅうかんかかったもんだか  
 ISYUUKAN KAKATTA MONDAKA  
 とおかかかったもんだか  
 TOOKA KAKATTA MONDAKA  
 アエランベウテツノ 〔茶を飲む〕 シレパアンー  
 a=erampewtek no,、 sirepa=an  
 アトゥイー、アクツワー エカノミネー  
 atuy a=kus wa ek=an humi ne  
 ノイネ アラムコロ こんどー  
 noyne a=ramu kor KONDO  
 アヤブ、ヤバンウシケー、  
 (a=yap,、) yap=an uske,、

着いて医者になりたい  
 ので一人で残っているか？」  
 と私が尋ねると「私も  
 行きたいものです」というので  
 息子や娘たちをみんな  
 残して  
 馬の餌の中に入った  
 妻の手を握って  
 その中へ入って  
 隠れて幾晩、  
 一週間かかったのか  
 十日かかったのか  
 私はわからずに着いた。  
 海を渡って来たように、  
 そのように私は思いながら  
 陸に上がったところは

モシカリペチ<sup>(29)</sup> オッタ ヤーパルウェネ

Moskaripet otta yap=an ruwe ne

モシカリベツ村に上がったのであった。

[鍋沢：うん]

エアラキナーネアナー アイヌー ニシパウタラ

earkinnean aynu nispa utar

とてもアイヌのニシパたちが

シレシクウシケウン イヤブ、ヤパルウェネ

siresik uske un (iyap, ) yap=an ruwe ne

いっぱいの方に私は上陸したのであった。

[鍋沢：うん]

キラアンヒネ こんどー

kira=an hine KONDO

私は逃げて

アマチー テケ、ア、アニンバヒネ

a=maci teke (a) a=ninpa hine

妻の手を引っ張って

エキムナー、ネー ウンマエツ トウム、ワー

ekimun ne umma ep tum wa

山へその馬の餌の中から

キラアンヒネー キムタアラパアン

kira=an hine kim ta (arpa=an)

逃げて山へ

パイェアン ルウェネヒネ プンカル

paye=an ruwe ne hine (punkar)

私たちは行って

ハッポンカル アン ウシケータ [咳]

hat punkar an uske ta

ブドウの蔓のあるところで

ネ ハッポンカルアニ チセ アカンイネ

ne hat punkar ani cise a=kar hine

そのブドウの蔓で家を作って

オロタ ウムレツヒネ アナルウェネーヒネし、

oro ta umurek hine an=an ruwe ne hine (SI)

そこで夫婦として暮らして

インカラ アナック、

inkar=an akusu

みると

ハー、コタンコンニシパー アウタリニシバ

(ha) kotan kor nispa a=utari nispa

村のニシパ、アイヌたちのニシパ

マチヒー シリカオマワ アン、<sup>(30)</sup>

macihi sirka oma wa an

の妻が床について

タスムコヤイラメコモ オハン<sup>(31)</sup>  
 tasumkoyayrameko (ohasi)  
 アンシリ シリカオマワ アンシリ  
 an siri sirka oma wa an siri  
 アヌカン ルウェネクス こんど  
 a=nukar ruwe ne kus KONDO  
 ネー コタンコンニシバ アウエンタラフテー  
 ne kotan kon nispa a=wentarapte  
 タフネタフネー オカイベ  
 "tapne tapne okaype  
 エネ、エネ、、エチー [咳] クレヤクン、、  
 ene, ene, , eci=kure yakun  
 エコロカッケマカナク ピリーカ  
 e=kor katkemat anak pirka  
 シクヌ ノイ、、ノイネ イラムアンナ  
 siknu (noy,,) noyne iramu=an na  
 アシヌマ、、シサムコタン  
 asinuma,, sisam kotan  
 オ、オヤコタンワ アラキアンペ アネー  
 (o) oya kotan wa arki=an pe a=ne  
 ウムレクアンワー キラアンワー ハー、、  
 umurek=an wa kira=an wa (ha,,)  
 ウンマエブ トゥム、、アオシマワー  
 umma ep tum,, a=osma wa  
 キラアンワ アラキアンペ アネフネクス  
 kira=an wa arki=an pe a=ne p ne kusu  
 シ、、ウ コボサンケアン  
 (si,,) ukoposanke=an  
 アア、、アキヤクン オヤコヤクタ  
 (aa,) a=ki yakun oyakoyak ta  
 エチー、、エトイタナンコンナー セコロ<sup>(32)</sup>  
 eci=etoyta nankon na" sektor  
 アウエンタラフテレー  
 a=wentaraptere

まさに病気で危篤状態になろうとしている  
 様子で床についている様子を  
 私は見たので  
 その村長に夢を見させた。  
 「実はこのようにあるものを  
 こうやってお前が飲ませたならば  
 奥さんはよくなり  
 命をとりとめると思うぞ。  
 私は和人の村、  
 よその村から来たものである。  
 私たちは夫婦で逃げて  
 馬の餌の中に入って  
 逃げて来たのものが私たちなので  
 子供たちを産んで  
 いたら、あちこちに  
 お前たちがそれを植えるだろう」と  
 私は彼に夢を見せさせた。

〔鍋沢：うん〕

アクス ソナーノカ アイヌニッパ	
akusu sonno ka aynu nispa	と本当にそのアイヌのニッパが
トノニッパ、 、 ナーニノポ エキネ <sup>(33)</sup>	
tono nispa, , nani no po ek hine	立派なニッパがすぐにやって来て
こんど、 、 フー、 ネー アポウタリー	
KONDO (hu) ne a=po utari	子供たちを
オウリワ コロ ワ サン ルウェネヒネ	
ouri wa kor wa san ruwe ne hine	掘って持って下りて
こんど ポッテワ アー クー	
KONDO popte wa (a,) ku	それを煮て飲ませ
マチヒ クルカッケマク クレアクス ハー、 、	
macihi kurkatkemat kure akusu (ha, ,)	彼の妻へ彼が飲ませると
トゥアンチカラ ミアンチカラしたけー	
tu ancikar MI ancikar SITAKE	二晩、三晩たつと
ソナーノ イボロワノピリカ シリ	
sonno iporo wano pirka siri	本当に顔色からよくなる様子を
ネーニッパ スカラペネクス エアラキンネ	
ne nispa nukar pe ne kusu earkinne,	そのニッパが見たものなのでとっても、
イサムタエツワ オンカミア オンカミアー	
i=sam ta ek wa onkami a onkami a	私のそばに来てくり返し礼拝し
コルー イヤイライケイタター、 、 キーコルー	
kor iyayrayke itak, , ki kor	ながら感謝の言葉を言う
さけコロワエツワ イカオター、 、	
SAKE kor wa ek wa i=ka ota, ,	酒を持って来て私の上に降りかけた。

〔鍋沢：うん〕

アマチーカ エツワネノー カラワ <sup>(34)</sup>	
a=maci ka ek wa neno kar wa	私の妻も彼らが来て同じようにして
エアラキンネ オンカミア オンカミア コロ	
earkinne onkami a onkami a kor	たいそう礼拝を繰り返しながら
サンシリ アヌカラワ アエヤイコブンテッ	
san siri a=nukar wa a=eyaykopuntek	下りて行く様子を見て嬉しかった



ペネクスこんど スイ エケシンーネ  
 pe ne kusu KONDO suy ekesinne  
 シッケルル アナクス スイ、ハー、  
 sikkeruru=an akusu suy (ha,,)  
 ポンメノコ シリカオマワ アンシリ  
 pon menoko sirkaoma wa an siri  
 トウンカ レンカ シリカオマシリ  
 tun ka ren ka sirkaoma siri  
 アヌカラペネクス ネーニシバ  
 a=nukar pe ne kusu ne nispa  
 アウエンタラツテレ  
 a=wentaraptere  
 トオンタカ タアンタカ  
 toon ta ka taan ta ka  
 タスムクル オカノイネノ  
 tasumkur oka noyne no  
 エバカシヌワ ホクレホクレ  
 epakasnu wa "hokure hokure  
 ネンポカ シツスレ ポンメノコ  
 nen poka siknure pon menoko  
 ウタラネナー シツヌレワー  
 utar ne na siknure wa  
 ヤクン エチー ピリカナンコンナー  
 yakun eci=pirka nankon na"  
 セコロ アウエンタラツテレ  
 sekor a=wentaraptere

[鍋沢：ふーん]

へー、コル キーアクス ネノー イェフ、アイェフ  
 (he,,) kor ki akusu neno (yep,) a=yep  
 ヌーワ ネ ニシバ キツネクス  
 nu wa ne nispa ki p ne kusu  
 スイ ポーサンケ アマチー キツネクス  
 suy posanke a=maci ki p ne kusu

ので、またあちこちに  
 視線を向けるとまた  
 小さい娘さんが寝ている様子を、  
 二人も三人も床についている様子を  
 私は見たので、あのニシバ  
 に夢を見せさせた。  
 あっちにもこっちにも  
 病人がいるらしいように  
 彼に教えて「さあさあ、  
 なんとかして助けたい娘  
 たちですよ。助けて  
 あげたいならお前たちよくなるよ」  
 と私が夢を見せさせる

ネワアンペ オウリワー	
ne wa an pe ouri wa	そういったものを彼が掘って行って
アラパワー ク、[咳] クレ	
arpa wa (ku,) kure	彼女たちに飲ませた。
ネー わかいもの、	
ne WAKAIMONO	若者に
ポンメノコウタル キーアクスー	
pon menoko utar ki akusu	娘たちにそうすると
ネーポンメノコウタラカ	
ne pon menoko utar ka	その娘たちも
トゥマシヌ ワー エアラキンーネアンー	
tumasnu wa earkinnean	丈夫になってとっても
イナウーアイコレー さけー アニア、アイノミワ	
inaw a=i=kore SAKE ani (a) a=i=nomi wa	木幣をくれて酒で祈って
イコロバレ ア、エアラキンネー アエイコブンテッ	
i=korpore (a) earkinne a=eyaykopuntek	くれた。とても私は喜び
タネアナッ ピリカイサネ アナン	
tane anak "pirka isa ne an=an	今は「よい医者に私はなれた
したなー セコロ ヤイヌアン クス	
SITANA" sekor yaynu=an kusu	んだな」と思ったので
もう、、ほん、、イヤイライケレー セコロ	
MOU,, "HON,, iyayraykere" sekor	「本当にありがとう」と
アシヌマカ オ、オンカミアン	
asinuma ka (o,) onkami=an	私の方もおじぎした。
アマチーカ キーノ ネー、、	
a=macihi ka ki no ne, ,	私の妻もおじぎして、その
イナウ アイコレしたり	
inaw a=i=kore SITARI	木幣をもらったり
さけー アイコレ、、	
SAKE a=i=kore, ,	酒をもらったり
ピリーカノ アイ ノミー して	
pirkano a=i=nomi SITE	ていねいにお祈りされて
ウコボサンケ エキムオー [咳払い] <sup>(35)</sup> ケシバアンコロ	
ukoposanke ekimo?? kespaa an kor	子供を産んで山に入って??毎年

アマチー ポーサンケツネクス  
 a=maci posanke p ne kusu  
 ソノーノ コタンー エピッタ シレシク、  
 sonno kotan epitta siresik, ,  
 キムタネヤッカ オヤコヤクタ  
 kim ta ne yakka oyakoyak ta  
 オヤコタン オッタ ネヤッカ ハー、  
 oya kotan otta ne yakka (ha)  
 ポシレシクテアンワ オカアンペー  
 posiresikte=an wa oka=an pe  
 アネークス タネオカ  
 a=ne kusu tane oka  
 シサムネチキ アイヌネチキ、 [咳]  
 sisam ne ciki aynu ne ciki

[鍋沢：うん]

イテキ イシトマノー  
 iteki isitomano  
 ネー くすり エチ クーヤクン  
 ne KUSURU eci=ku yakun  
 エチシクヌツネナー セコロ  
 eci=siknup ne na sekor  
 マタタンブ えへへへへ、  
 matatanpu (ehehehe, )  
 ウバクマワ わかいクル オピッタ  
 upaskuma wa WAKAI kur opitta  
 アアヌワ オンネアンペ アネクス  
 a=anu wa onne=an pe a=ne kusu  
 アイェナーセコロ マタタンブ イソイタク  
 a=ye na sekor matatanpu isoytak

私の妻が子供を産むので

本当に村中いっぱいになるように

山であってもあちこちに

他の村のところであっても

私たちは子供を産んでいたものが

私たちであるから今いる

和人でもアイヌでも

決して恐がらずに

その薬を飲んだなら

お前たちは生き返るものなのですよと

マタタビが

言い伝えて若い人たちに

言い残して私は死んでいくので

言うのですよとマタタビが話した。

## 5. 注

- (1) これらは大谷洋一(1995):「松島トミの伝承」、『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要第1号』に報告している。
- (2) 北海道大学農学部附属博物館の高橋英樹教授にヨノコの植物標本を見ていただいたところ「イネ科メヒシバ属メヒシバ(メシバ、ジシバリ、ハタカリ)であるが、北海道の在来種なのか帰化した植物なのかは不明である」とご教示を受けた。この散文説話は新冠町出身の女性から松島さんに伝承されたので「ヨノコ」ということばが新冠町で用いられていた可能性もある。しかし今のところ新冠町出身の人でこの名称を知っている人を確認できていない。
- (3) 知里真志保「アイヌの散文物語」『北方文化研究報告第十輯』、北海道大学、1955年にウエベケルの下位分類として「カムイ・ウエベケル(kamuy-uwepeker 神の散文物語)」というジャンル名称を記し「神が自分のことを述べる體になっているものを云う」と説明している。松島さんは「ヨノコのウエベケル」という名称を用いて口演し、「マタタビはカムイ(神)だけど、ヨノコはカムイではない。わし、呼びつけたんだわ」と述べている。
- (4) 松島さんによると、トノコタン シサムコタン tono kotan sisam kotan というのは「北海道内で和人が多く住む村のことではなく、内地(本州)にある村のこと」と述べている。
- (5) 松島さんによると、門別町の厚別川下流域では「非常に、とても、ものすごく」を意味するアイヌ語としてエアッキンネアン earkinnean とエアラッキンネ earkinne keraan の二つがあり、両者に意味の違いや使い分けはないという。日常会話例として、エアラッキンネアン ケラアン earkinnean keraan「とっても美味しい」をあげている。奥田統己(1999)『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』に「なんとまあ」を意味するアイヌ語として「①エアットクonna eattukonna ②エアットクonnノ eattukonno ③エアットクonnノアン eattukonnoan」が記載。③と同様の表現と思われる。
- (6) 松島さんによると、主人公が入れられたのは「袋の中」である。
- (7) 松島さんは「t」を「k」で発音することがある。本稿では、ペツ pet「川」をベツ pek、カッケマツ katkemak「婦人、奥さん、淑女」をカッケマツ katkemak、アマツネポ a=matnepo「私の娘」をアマツネポ a=maknepoなどと発音しているが、最近生じた発音の変化なので義歯の状態が影響していると思われる。
- (8) 松島さんは、「～を好む」という意味のアイヌ語として、コラマスイ koramasuy「～を好む」とエラマスイ eramasuy という二つの語形をあげている。奥田統己(1999)『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』に後者の形で記載あり。
- (9) イララアン irara=anを松島さんは「エイヌピタヲ eynupitar「を嫌がる」されても人を馬鹿にして子供増やした」と説明した。「私たち夫婦は年を取った今でも和人の思うとおりににはならず子供を増やし続けた」ということである。
- (10) 「ちんぎからちんぎ」は「次から次」という日本語である。
- (11) 松島さんによると、アエシキキラッ a=esirkirap「私が～に困る」というべきところを言い損なつたらしい。
- (12) 松島さんによると、エチトゥイバ ワ エチオスラ eci=tuypa wa eci=osura「お前たちがその根元から切って捨てる」というべき個所である。
- (13) ここではヨノコにカムイ kamuy をつけているが、伝承元の胡桑野トキさんが冗談で「カムイ」を付けて語ったのでそれに習って松島さんも「カムイ」を付け加えたということである。
- (14) 松島さんによると、ここはアエランベウテッ a=erampewtek「私は～がわからない」というべきところである。
- (15) コタンコロニシバ ウトゥルケー kotan kor nispa uturkeを直訳すれば「村長の下座のところ」であるが、村長のいるところとの位置関係について松島さんは「村長の家の裏側だ。シャモ(和人)のことばで言えば花畑のこと」と述べている。
- (16) 松島さんはヘネヤ he ne ya「～したのか」と言うつもりであったという。
- (17) 松島さんによると、人間の幼児に対して「成長したら立派になって出世しなさい」という意味で日常生活に用いたことばである。
- (18) 松島さんによると、ラライバ raraypa「彼が～をなでる」というのが正しい。アクセントは第2母音にある。
- (19) 松島さんによると「目をギョロギョロする」の意味であり、別に行儀の悪い者に対してだけの表現でもないという。説明中、シキルルアン sikkiruru=anと聞こえるときもある。
- (20) 松島さんによると、ワッカ オシンヌ wakka osinnu「水が引く。水が流れきる」という意味で雪解けや大雨によって増水した川から水が引いたときに用いる言葉である。
- (21) 松島さんによると、アツカ ヤムワ イサム apto ka YAMU wa isam「雨も止んでしまった」と言いたかったという。
- (22) オアシン o-asin「その尻・出る」という1項動詞が田村すず子(1996)『アイヌ語沙流方言辞典』草風館にあ

- るが、ここではオアシン o-asin「そこから・出る」という2項動詞として解釈した。松島さんによると、ペテトタ ヲッカ オアシン ウッケ petetok ta wakka oasin uske「水源地で水の湧き出る所」というつもりであった。ワッカ オアシン ウッケ wakka oasin uske「湧水の出る所」は川の上流に関係なく水の湧き出る所を指すという。
- (23) 松島さんによると、次の行から主人公の男の子の会話である。「自分は兄弟がいたかどうかも知らない状態で暮らしていたが、女の子の場合は住んでいた所や家族のことを知っているの、自分よりいくらか幸せである」という気持ちで喋っているのだという。ところが少年の語り部分の後は「その女の子が辛い目にあって泣きながら自分のことを言った」となっている。
- (24) 松島さんによると、コラムコロ koramkorは「相談する」ということだが「求婚する。交際を求める」という意味で、主に男女が交際のための相談をすることもいう。
- (25) 筆者はアウェンタラツテレ a=wentaraptere「私が彼にその夢を見せさせる」という3項動詞と解釈した。
- (26) 和人が薬の存在に気づいてくれないのをマタタビが嘆いている文脈であったがここでは「和人たちが子供たちを持って行く」というように述べている。持って行ったとしても薬としては用いていないということなのか不明。
- (27) 松島さんによると、ウンマエウ umma ep「馬の餌」とは「牧草」のことだという。
- (28) 松島さんによると、主人公の魂が入ったマタタビの実が風に運ばれて牧草の中に入ったという。魂の抜けたマタタビの木は枯れるという。
- (29) ここではモッカリベチ Moskaripeci とも聞こえるが、松島さんと鍋沢キリさんによると「その言い方はない」という。カムイ kamuy「神様」への祈り言葉の中で同地のことをモッカリベツ コタン Moskaripet kotan「モッカリベツ村」と言っていたという。
- (30) アン、an、の後に何か聞こえるがよく聞き取れない。
- (31) タスムコヤイラメコモ tasumkoyayramekomo「病気で危篤状態になる」という1項動詞である。松島さんは「病気でどうすることもできないこと」と説明した。その後にはオハシ ohasi と聞こえるが松島さんはアンシリ an siri「いる様子」と言うつもりだったという。
- (32) 松島さんによると、マタタビの子供（マタタビの苗木）を人間が彼らの家の周囲に植えて薬としていつでも用いてほしいということである。
- (33) 松島さんによると、主人公が夢で薬のことを伝えても和人は夢で見たことを信じなかったが、アイヌは夢を信じてすぐに山へ駆けつけたということである。
- (34) 松島さんによると、マタタビの夫婦は別々の木になっている実の中にそれぞれの魂が入っている。アイヌはトッキ tuki「儀式で酒を入れるための椀」に入れた酒をイクパスイ ikupasuy「儀式で酒を捧げるためのへら」を用いて、木の胴体に降りかけて礼拝している。なお、松島さんはそのへらをトッキパスイとは言わない。
- (35) 松島さんによると、エキムオ ekimo??ということばの意味は話者自身もよくわからないが昔の年寄りが用いていたので語りの中でも用いたということである。